



# 進路だより

県立友部特別支援学校 進路指導部

令和2年12月 第3号

## 1 校内実習・現場実習について

**校内作業実習** 10月19日(月)～30日(金)



茨城県総合健診協会  
検尿セットの組み立て



いがり産業株式会社  
プラスチック部品加工



株式会社太田商工  
ボールペン芯の袋入れ



坂田エンタープライズ  
袋リサイクル



空き缶リサイクル

○ 第Ⅱ期校内作業実習は、第Ⅰ期校内作業実習の反省や経験をもとに各自の目標を意識して取り組むことができました。

## 現場実習

<3年生>



ひばり  
タオルたたみ等



しろかね苑  
リード線伸ばし



クオリティオプライフ  
弁当作り補助作業



ともに-アレス  
クリーニング作業

○3年生は、卒業後の生活をイメージしながら実習に取り組みました。

<2年生>



ニコニコハウス  
フルーツネット折



双葉園  
ボールペンの袋詰め



ビックハウス  
青果の袋詰め



サポートセンター-きらら  
菓子の袋詰め

○2年生は、自分の得意なことや自分に合った作業を見つける大切な経験をすることができました。

## 2 中学部 校外職場体験学習について

10月6日（火）と7日（水）に中学部の各学年において校外での職場体験学習を行いました。1年生は「ムラカミシード」、2年生は2班に分かれ、「ともにアレス」と「ムラカミシード」、3年生は「ガーデンショップ花みどり」へ行き、それぞれの場所でいただいた仕事を体験することができました。事前学習の時から、働くことに興味をもったり、丁寧に行えるように意識をしたりと仕事に対する意識が芽生えてきました。生徒たちからは、「仕事をするのは大変だったけど、たくさんの仕事が経験できて楽しかった」などの前向きな感想も聞くことができ、仕事をするということについて考える良い機会になりました。



（1年生：ムラカミシード）  
【ウッドチップの袋詰め】



（2年生：ともにアレス）  
【タオルたたみ】



（3年生：ガーデンショップ花みどり）  
【花の水やり】

## 3 進路先情報 Q&A

Q：福祉サービスの「生活介護」と「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」について教えてください。

A：共に日常生活や社会生活の質を確保するため介助や生活能力の向上の訓練を受けながら創作的な活動や生産活動を行うサービスです。したがって、施設見学に行かれると、利用者が同じように活動しているように思えますが、目的・障害区分有無・利用期間が異なりますので下記を参考にしてください。

### 生活介護

- 目的：常に介助を必要とする人に、昼間、入浴・排泄・食事の介助等を行うとともに、創作活動や生産活動の機会を提供する。
- 障害支援区分：あり（区分3以上）※
- 利用期間：定めなし

### 自立訓練（機能訓練・生活訓練）

- 目的：自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行う。
  - 障害支援区分：必要なし
  - 利用期間：原則2年間
- \*必要があると認められれば、最大1年間の延長が可能です。  
期間を終えると、別のサービスに変更することとなります。

※障害支援区分とは、一人ひとりへのサービスの必要度に応じて、介護給付の必要度を表す6段階の区分（区分6が一番必要度が高い）をいいます。

※区分の決定は、総合的な判断を踏まえて市町村が認定。相談窓口は各市町村福祉課